

田さざ 町政だより

町の人口

2月29日現在

総人口 11,628人

男5,545人 女6,083人

世帯数 3,308戸

出生 11人 死亡 9人

転入 49人 転出 57人



319柱の招魂祭に思いを新たに参列された皆さん

(4月3日三柱神社境内)

こよみ

- 河川美化月間
- 春の全国交通安全運動
- 世界保健デー 15日
- 婦人週間 16日
- 科学技術週間 20日
- 発明の日 18日
- 通信記念日 20日
- 郵便週間 26日
- 天皇誕生日 29日

- ### おもな内容
- 地方自治功労に 菊本町長
 - 交通安全は家庭から
 - 家出と盗犯防止にご協力を
 - 辻収入役ら人事異動発令 (2・3面)
 - 町長おもな日誌
 - 衛生優秀店、優良店表彰
 - 石油の節約策が強化 (4・5面)
 - 国と郷土を考える国勢調査
 - 非農地証明、事務権限移譲
 - 社会福祉、会員募集
 - 国保税の知識 (6・7面)
 - 郵便・電話局・駅だより
 - 佐々文化服装学院生徒募集
 - 教委・公民館だより (8・9面)
 - 公民館報が町政だより編入
 - 随筆郷土誌(佐々小学校)



菊本町長

菊本町長

地方自治功勞で 表彰を受く!!

長崎県町村会定期総会が二月二十七日長崎市で開催され菊本町長が全国町村会から町村自治の振興発展に尽された功績で表彰されました。菊本町長は今回の表彰は全く町民のご協力のおかげですと感謝の意を表しました。



辻 正之氏

就任のあいさつ

佐々町収入役

辻 正之

桜花らんまんの候 町民の皆様には益々ご健勝の事と衷心よりお慶び申し上げます。このたび図らずも佐々町収入役を拝命いたしました。

婦人の10年

(昭和51年～60年)

男女平等を促進しよう

社会の発展、世界の平和を進めよう

○ 婦人の政策決定参加の促進

○ 家業・家庭における妻の働きの評価

○ 新しい教育機会の創出

○ 新しい時代に即応する学校教育

○ 国際協力

○ 老後における生活の安定

○ 寡婦等の自立の促進

○ 農山漁村婦人の福祉の向上

○ 母性と健康を守る対策

○ 育児環境の整備

○ 雇用における男女平等

——一九八〇年世界会議から——

春の全国交通安全運動

交通安全は家庭から

運動の重点

◎ 歩行者、特に新入学(園)児を中心とした子供の交通事故防止

◎ 自転車の安全利用の促進

◎ 安全運転管理の充実と安全運転の確保。

飲酒運転の追放

◎ 飲んだら運転しない。させない心がけましょう。

二輪車を運転するときは昼間でも点灯しましょう。

ヘルメットを着け安全運転をしましょう

二輪車を昼間運転するとき

前照灯をつけていると他の車両の運転者に対して二輪車の位置がはっきりわかり、注意して運転することになります。

また、二輪車を運転している人も安全運転に心がける効果があるものです。

二輪車の交通事故は交差点やその付近で多く発生しております。運転するときはヘルメットを着け安全運転をしましょう。

私たちがこれを機会に一度、交通問題について真剣に考え事故防止に努めましょう。

春の防犯運動実施中

家出少年の防止や盗犯防止にご協力を!!

一、実施期間

四月三十日まで

二、運動の重点

(1) 侵入盗並びに乗物盗などの盗犯防止

(2) 金融機関を対象とした凶悪事件の防止

(3) ち漢などの性犯予防取締り

(4) 少年非行防止

(5) 行楽地における交通事故の防止

(6) 家出少年の発見保護

三、各地域においては、防犯連絡所が中心となつて自主的防犯活動を行い防犯意識の高揚をはかり、被害の防



止に努め、犯罪のない明るく住みよい町づくりをしましょう。

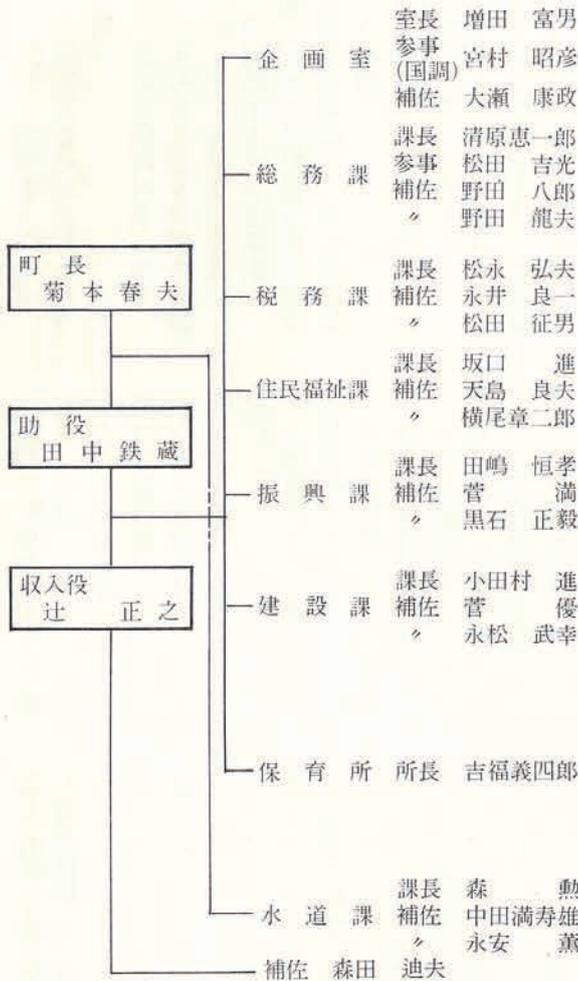
辻収入役など人事異動を発令

4月1日付、佐々町役場の人事異動があり、前収入役宮村宇一郎氏の任期満了に伴う勇退により、辻正之氏（前企画室長）が収入役に就任されました。

また、前建設課長補佐の田嶋恒孝氏が振興課長に発令されるなど、一部の人事に異動がありました。尚くわしくは、下表組織表をご覧ください。

佐々町役場組織一覧表

●係長、主任 ▲主査 (昭和55年4月1日現在)



- 企画調整係 ●(兼)大瀬康政
- 住民相談係 ●淵上勝利
- 国土調査係 ●鷲淵正夫・北川敏夫・川上一郎
- 総務係 ●(兼)野田龍夫 ▲内野晴美・山口一子・前田多聞
- 財務係 ●(兼)野田八郎・木原山龍文
- 消防防災係 ●(兼)山下裕康
- 管財係 ●松田政喜・須藤敏規・(嘱)小川茂
- 戸籍係 ●横田キヨ子 ▲重富晶子・田島須美
- 賦課第一係 ●(兼)松田征男 ▲古庄剛
- 賦課第二係 ●(兼)永井良一・三好邦彦
- 徴収係 ●古野英幸・菅幸男
- 福祉係 ●(兼)横尾章二郎・横田憲治・福田志津子
- 国保年金係 ●山本邦夫 ▲森田稔・永安文男
- 環境衛生係 ●(兼)天島良夫 ▲前川多賀子
- 庶務係 ●(兼)黒石正毅 ▲村上千鶴子
- 農林係 ●佐藤勝広・谷添正人・北村英彦
- 耕地係 ●西嶋敏彦・松永義章
- 商工観光係 ●(兼)黒石正毅・(兼)村上千鶴子
- 管理係 ●(兼)菅優 ▲前川隆行
- 建設係 ●山下義則・北村伸太郎・小村登
- 失業対策係 ●山本民男 ▲中村正巳・浜田能久
- 第一保育所 ●山科敏子 ▲上野増子・山高ミドリ・西牟田文子
平島真弓・寺田八代子・福田るり子
- 第二保育所 ●佐々木テル子・上滝美子・二宮八恵子・迎恵美子
・松野節子・宮島真知代
- 第三保育所 ●永元フサ子・浦田佐美子・柴山政江・田嶋美智江
・池田富実代・山川幸枝・松田知子
- 業務係 ●(兼)中田満寿雄・松田弘海
- 施設係 ●福村豊 ▲吉良忠男・山口澄夫

築城律子

- 総務係 ●中山俊範 ▲大久保アツ子
- 社会教育係 ●(兼)前田好古 ▲国竹孝子・鷲淵育雄・(県派)川辺信重
- 佐々中学校 石川常夫・森田利子・池田きみえ
- 佐々小学校 鐘ヶ江セツ・荒木政子・坂本美代子
- 口石小学校 永川トシ子・大川内美佐子・小林洋子 (臨)
- 佐々幼稚園 福田清子・松永温子・末永ユウ子・松田道代・野中淑子

教育委員会事務局
教育長 広川 敏麿
次長 前田 好古

議会事務局
農業委員会事務局
選挙管理委員会
監査所
診療所
所長 於保 定彦
事務長 高島 愈

事務局長 萩田憲一・書記 大瀬忠昭・米永裕子
事務局長 小岸元清・書記 山本健一
書記長(兼)清原恵一郎・書記長補佐(兼)松田吉光 ●書記 山下裕康
書記(兼)松田吉光

- 岡本省三・崎田雅也・大浦富夫・野村京子・藤永信子
- 小川久子 ●橋口正子・宮崎勝子・松本佐和子・平絹子・徳田令子

勤労青少年ホーム — 館長(兼)広川敏麿 — 指導員(嘱託)吉富孝道

佐世保広域圏北部じん茶処理一部事務組合 — 事務局長 大瀬幸雄・井村操・坂本齊・辻重徳・山藤健一

町長 おもな日誌

- 2・20(水)○町職員採用二次試験執行○警友会出席(江迎)
- 岡部前農林水産省構造改善局次長講演会出席(佐世保)
- 2・21(木)○部落会長会出席
- 南部部落会長会出席○老人クラブ連合会支部長会に出席(会長、副会長推せん決定)
- 2・22(金)○県北耕地事業推進協議会出席(代理)○九電本社へ九州各県土地改良連合会代表として電力料金と農事用電力の抑制陳情
- 2・23(土)○建設関係入札○水田再編対策協議会出席○上水道特別委員会出席○元職員奥リエ氏逝去悔に行く
- 2・24(日)○神田やろう会北松駅伝出発激励会出席○三柱神社祈念祭出席
- 2・25(月)○総務委員会出席
- 東町新道の地主あいさつ廻り
- 2・26(火)○県町村会評議員会
- 市町村交通共済組合会議
- 公務災害補償組合会議
- 退職手当組合会議出席
- 2・27(水)○県町村会定期総会出席(長崎)○県庁農林部へ陳情
- 2・28(木)○国保連合会役員会総会出席(長崎)
- 2・29(金)○東部土地改良組合役員会及総会出席○鉾害溜池調査入札○高令者雇用事業視察結果について副議長常任委員長外で検討会に出席
- 3・1(土)○県立北松南高校卒業式北松浦町代表として出席祝辞○水田再編対策特別委員会出席
- 3・2(日)○五十四年度一般会計特別会計補正予算及五十五年度一般会計及特別会計予算案について審議

- 3・3(月)○町村共済組合会議出席(長崎)
- 3・4(火)○町議会運営委員会出席○県国保連合会(会長として)及県土地改良連合会(副会長)に事務連絡に出席
- 3・5(水)○佐々町定例町議会三月十八日迄
- 3・8(土)○全日自由労組と年度末手当要望団交出席
- 3・14(金)○第四回九州鉾害評議員会出席(福岡)
- 3・15(土)○建築職業訓練校修了式出席(祝辞)○マツナガ自動車整備工場落成式出席
- 3・16(日)○佐々、吉井、小佐々、相浦四町少年サッカー
- 3・3(月)○町立幼稚園卒園式出席祝辞○長崎山喜新入社員の入社式出席祝辞○中学卒就職激励会出席挨拶○部落長会議出席(謝辞)
- 3・17(月)○第三保育所新築開所に付正副議長常任委員長出席
- 3・18(火)○佐々町立佐々中学校卒業式出席祝辞○佐々文化服装学院修了式出席祝辞
- 3・19(水)○佐々、口石両小学校卒業式出席祝辞○老人セクター補修事業入札
- 3・20(木)○神田部落戦没者慰霊祭出席
- 3・21(金)○町立幼稚園卒園式出席祝辞○町立幼稚園卒園式事務取扱金融機関、または住友金融公庫福岡支所へお問い合わせ下さい。電話(〇九二)七二一五五五番

- 3・22(土)○町営、県営住宅補修工事入札(三ヶ所)○住世保農協佐々地区農協婦人部総会出席(祝辞)
- 3・24(月)○北松森林組合理事會出席○佐々、口石小、佐々中補修事業入札○佐々、吉井、小佐々三町じんかい処理小委員会出席○町立診療所運営協議会出席

住宅金融公庫春の受付

▼受付期間(予定)
四月下旬頃から約一ヶ月間
くわしくは、住宅金融公庫業務取扱金融機関、または住友金融公庫福岡支所へお問い合わせ下さい。電話(〇九二)七二一五五五番

衛生優秀店

佐々町内で、次の店が長崎県知事より表彰を受けましたのでお知らせします。
衛生優秀店
ビューティ松尾、旅館山嶽

優良店表彰

衛生優良店
理容小川、ひとみ美容室、旅館青葉、てらざき、コーヒーション「サウンド」
峯松食堂、サンフランセ、



毎月一日は「省エネルギーの日」です。
レストランサントロベ、佐世保市農協佐々店。

昭和54年度事業入札状況 (3月15日現在)

事業名	入札期日	落札額	請負業者名
半坂線舗装工事	2月23日	5,500千円	西部道路
小春露切橋線舗装工事	〃	9,000	中外道路
市瀬第2田地浄化槽排水管改修工事	〃	445	九州電工
町道幸田原線路側災害復旧工事	〃	1,050	玄洋建設
町道半白線路側災害復旧工事	〃	800	中井産業
町道木場線路側災害復旧工事	〃	228	玄洋建設
里木場線道路時渠工事	〃	600	嶋藤建設
中央海岸線上留擁壁工事	〃	850	石田工務店
盲ヶ原線道路舗装工事	〃	1,500	谷川建設
岡池川地線側溝工事	〃	480	県北建設
社の元水路土砂止め工事	〃	2,100	岩野組
小丸山線道路改良工事	〃	2,150	〃
本陣池地区調査ボーリング工事	2月29日	2,100	三扇コンタ
稗田池地区調査ボーリング工事	〃	1,700	藤永建設
帽子田池地区調査ボーリング工事	〃	1,900	三扇コンタ

狂犬病予防注射と登録を実施します

昭和五十五年度、犬の登録及び春の狂犬病予防注射が実施されますので、犬を飼っている人は、左記事項に留意の上最寄の会場で接種を受けられますようお知らせします。

▼手数料

- ①登録料 二〇〇〇円
- ②注射料 一〇〇〇円
- (計 三〇〇〇円)

▼事故防止のため、犬に異常のある場合は、獣医師に事前に申し出てください。

また、人を咬む恐れのある犬は、口輪をしてきてください。

実施月日	実施場所	実施時間
4月16日(水)	市民館	9:30~10:20
	公民館	10:30~11:40
	公民館	13:20~13:40
	公民館	13:50~14:20
	公民館	14:30~15:00
4月17日(木)	(旧)公民館	9:30~9:50
	公民館	10:00~10:30
	公民館	10:40~11:30
	公民館	13:20~15:00
	公民館	

登録を実施します

▼生後三ヶ月以上の犬は、登録及び注射をしなければなりません。

※登録申請書記載のため必ず印鑑を御持参ください。(住民福祉課)

おめでた おくやみ

ご結婚おめでとう

- (氏名) 夫・北村 辰治 (部落) 里
- (旧姓牟田) 妻・北村小夜子 芳浦
- 夫・米田今朝夫
- 妻・蒲原 澄子
- 夫・松口 俊一 西町
- 妻・諸熊千恵子
- 夫・福田 市郎 土手迎
- 妻・古賀みつよ
- 夫・古川 顯徳 沖田
- 妻・橋本 早徳

お誕生おめでとう

- 父の名 母の名
- 続柄 出生児名 部落
- 久保 優一 保子 新町
- 2男 健二
- 北川 英明 明美 市瀬
- 2女 真奈美

省エネルギー

5%から **7%** へ



石油の節約策が強化されました

国では昨年以來、5%の石油消費削減対策を実施してきましたが、このほど、さらに2%上乗せした「7%節約策」を決めました。

それにより、暖房温度を、これまでの「十九度以下」から、さらに一度下げて「十八度以下」にするほか、通勤・レジャー用のマイカー利用の自粛、自動車の経済速度(一般道路は毎時四十キロ程度、高速道路では毎時八十キロ程度)の励行などについて、広くみなさん方の協力をよびかけています。

また、わたしたち国民生活に關係の深い分野では、①テレビは午後十二時以降の放送を極力自粛する②ネオンは午後十時に消す③終夜営業の小売店やレストランなどの深夜飲食店は営業時間を短縮する④バー、キャバ

レーなどの風俗営業は、終業時間を厳守する——などについて、国は関係業界に要請、指導することをなっています。

一方、産業の面では、「省エネルギー法」に基づいて、エネルギー使用の合理化を一段と進めるとともに、石油以外の燃料への転換が積極的に推進されます。

このように、一般家庭はもとより産業、輸送など各方面での節約を徹底させることによって、今年中に約二千万キロリットル(二十五万トン級タンカー約七十二隻分に相当)の石油を節約しようというものです。

省エネルギーはいわば、「純国産エネルギー」といわれ、7%節約の効果は、年間約二千万キロリットルもの石油の生産に匹敵するのです。節約すなわち生産なり、というわけですね。

- 大瀬 義期 壽子 神田
- 長女 千尋
- 大石 泰夫 まち子 野寄
- 2男 英人
- 立石 矢一 初子 木場
- 長男 和洋
- 藤永 隆 マリ子 口石
- 長女 長女 友樹 西町
- 松瀬 徹 はるみ
- 細川 直行 睦子 若佐
- 長女 利恵 若佐
- 間地 國勝 姦子
- 金子 八尋 尚子 四井樋
- 長男 昇平
- 下條 操 恵美子 四井樋
- 3男 圭介 市瀬
- 大浦 隆二 悦子 口石
- 長女 朋美 口石
- 柴 紀代治 光子 里山
- 長女 恭子 里山
- 磯本 一馬 清美 若佐
- 2男 貴行 若佐
- 濱田 司郎 シノブ 里山
- 3男 伸
- 大浦 純男 市瀬
- 岩本 友子 東町
- 坂口 信雄 栗林
- 奥 リエ 神田
- 石田よし江 28才 神田
- 岩野 フミ 76才 四井樋
- 松本 キヨ 70才 里
- 筒井 スヘ 92才 栗林
- 橋田 シヲ 90才 神田

ご冥福を祈ります

(氏名) (年令) (部落)

大浦 純男 60才 市瀬

岩本 友子 55才 東町

坂口 信雄 61才 栗林

奥 リエ 65才 神田

石田よし江 28才 神田

岩野 フミ 76才 四井樋

松本 キヨ 70才 里

筒井 スヘ 92才 栗林

橋田 シヲ 90才 神田

※二月十五日から三月二十一日受付分まで。



国と郷土を考へる

国勢調査のはなし②

「二人で停止」(韓国)
 「二人適当、三人せいたく、四人反社会」
 (シンガポール)
 「夫婦は二人、子供も二人」
 (インド)

いずれも、人口の増加に悩んで出生抑制を呼びかける標語ですが、深刻なお国の事情が伝わってくるようです。

ところで、何年もの間、人口が増えもしないし減りもしない、いわば車が止まっているような状態を「静止人口」といっています。

人口が「静止」するには、適度な出生抑制が必要ですが、それには夫婦が平均二・一人の子供を持つ状態がピッタリ



だといわれます。

早い話が、親二人・子供二人の世代の交代が続く限り、人口は横ばいという勘定になります。ところが、中には子供を産まない夫婦がいたり、子供が親になるまでに死亡する場合もありますので、その分を〇・一人見込んでいます。

車はすぐに止まらない 〈人口惰性〉

わが国の場合を見ても、しょう。この「人口惰性」は、特別なことがない限り、今後二十〜三十年は続くものと見られています。

五年ごとに行われている出生力調査によりますと、夫婦一組当たりの子供の数は、次の通りです。

四十二年	二・二人
四十七年	一・九二人
五十二年	一・八九人

この数字を見る限り、二人の「静止水準」を下回っているの、車でいえばパツ

ク、つまり人口は減少しているはずですが、実際には年率一％程度(約百万人)の増加を続けています。

このナゾを解くカギは「人口惰性」という言葉です。

それは、過去のベビーブームに生まれた人たちが、いま出産年齢を迎えており、しかも全人口に対する割合が多いために、二・一人の「静止水準」を下回っても、全体としてはすぐに「静止人口」にはならないのです。

ちょうど、走っている自動車のエンジンを急に止めても、すぐには止まらず、しばらくの間惰性で走り続けるのと同じです。

とはいえ、年々「惰性」のスピードは落ちていきますので、長い目で見ると今後人口は減少し、高齢化社会が深刻な問題となると見られています。

このような人口の状態を知る基礎になるのが、国勢調査です。

固定資産税・軽自動車税は必ず

四月三十日までに納付しましょう。

〔国保だより〕

＝その4＝



① 誤った受診はやめましょう

あなたは病院を転々と渡り歩いたり、むやみに薬を求めたりしているような事はありませんか。それは誤った受診の仕方ですし、そのうえみんなの「国保税」が無駄に使われることとなります。また忙しいお医者さんのことも考えて、夜間、休日の診療や往診も、急患の場合以外はできるだけさけるようにしてください。

② (かかりつけのお医者さんをもちましょう)

あなた一人ホームドクターを。あなたの健康をよく知っているお医者さんは病気の時はもちろん、日頃の健康の支えにもなってくれます。行き届いた健康管理は、あなた、医師、そして国保の三人四脚で行われるのが望ましいのです。

※国保テレビ番組のおしらせ

期間、昭和55年4月1日から、昭和56年3月31日までの毎週火曜日。

放映時間 NBCテレビ 夕方6時51分15秒〜6時52分45秒までの間。
 ニュースコープ時の30秒スポット。

テーマ

- ① 4月〜6月の3ヶ月間。「国保の仕組みについて」
- ② 7月〜9月の3ヶ月間。「健康づくりについて」
- ③ 10月〜12月の3ヶ月間。「老人医療について」
- ④ 1月〜3月の3ヶ月間。テーマは未定。

体力づくりで

健康の

“定年延長”を

野犬の薬殺にご注意!!

鹿町町では、四月三十日まで、野犬の薬殺が実施されま
すので、犬を飼っている人は、
被害を受けないようご注意ください。

また、佐々町でも飼い犬に
よる、人畜・農作物等の被害
があつていきますので犬を飼つ
ている人は放置しないで夜間
でも必ずつないでおきましょ
う。
飼い主にとっては可愛い犬
でも、他人には恐ろしい動

物です。

※佐々町犬取締条例(抜粋)

第三条 飼い主は、次の事項
を守らなければならない。

一、飼い犬は人畜等に危害を
加えないようにけい留する
こと。

二、飼い犬を連行し、または
移動させるときは、丈夫な
くさり、または、綱をかけ
人を咬むおそれのある場合
は、口輪をかけること。

「非農地証明」

事務の権限移譲

公簿上の地目が農地であつ
て、現況が人為的に非農地化
して相当長期にわたる場合並
びに災害及び自然荒廃により
一定の条件に適合するもの
につき、非農地証明を行つて農
地法の適用を除外して地目
の変更ができる制度があります
が、従来県において行つてい
た非農地証明の事務が市町村
農業委員会に昭和五十五年四
月一日から権限移譲され佐々
町農業委員会で証明できるこ
とになりましたのでお知らせ
します。

なお、非農地証明を申請さ

社会福祉協議会だより

務務の場合は、先づ地元農業委
員さん又は農業委員会事務局
へ御相談ください。
佐々町農業委員会

●寄付金の御礼
◇香典返しとして

- ▼故 富田 ハツノ殿
- ▼故 奥 リエ殿

栃木県下部賀郡藤岡町
藤岡5183
北御門 恒二殿

▼故 坂口 虎寿殿

古川 坂口 重一殿

▼故 坂口 信雄殿

栗林 坂口 マス殿

▼故 池田 信一殿

●特別寄付ありがとうございます

野寄 池田ジュン殿

▼故 岩野 フミ殿

●特別寄付ありがとうございます

四井樋 岩野 宣之殿

▼故 大浦 純男殿

市瀬 大浦ミツエ殿

◇一般寄付金として

△新町 藤裕会

代表 西村博子殿

△新町 山本真司君

△部落連合協議会

会長 永田隆一殿

以上の方々から、ご寄付を
戴きました。紙面をもって、
厚くお礼申し上げますと共に
皆様へお知らせします。

社会福祉協議会では町民の
皆様から常に暖かいご協力を
戴き厚くお礼申し上げます。

社協会員募集

昭和五十五年、社協が会員
制となり今年で五年目になり
ます。その間皆様方のご支援
によりまして、老人センター
の運営をはじめ、心配ごとの
相談、各種資金の貸付、各種

募金会への協力等、社協の目
的である地域社会福祉の増進
に努力しておりますが、その
原動力は会員としての皆様方
の積極的なご努力によるもの
です。本年も次により会員募
集を致しますので、何とぞよ
ろしくおねがい申し上げます。
期間 四月三十日まで
会費 一般会員：二〇〇円
私の施設：五〇〇円
法人及び団体：一〇〇〇円
佐々町社会福祉協議会
会長 菊本春夫



[4月行事予定]

技能検定の募集

- 一、募集期間 五月七日まで
- 二、実施期間 六月二十七日
から九月二十八日までの間
の別に指定する日
- 三、実施職種

- 造園、鑄造、機械加工、
金属プレス加工、鉄工、板
金、仕上げ、工具研削、製
材のこ目立て、電子機器組
立て、電気機器組立て、建
設機械整備、婦人子供服製
造、紳士服製造、木型製作、
木工、製版、印刷、製本、
ガラス繊維強化プラスチック
ク成形、陶磁器製造、石工、
とび、左官、築炉、ブロッ
ク建築、タイル張り、畳製
作、防水施工、床仕上げ施
工、熱絶縁施工、サッシ施
工、貴金属装身具製作、表
装、塗装、広告美術仕上げ、
写真

- 四、合格発表 十月十四日
- 五、資格 合格者には、1級、2級技
能士の称号が与えられます。
- 六、問合せ先 受検については左記にお問
い合せください。
- 長崎県労働部職業訓練課
長崎市江戸町2番13号
- 長崎県職業能力開発協会
長崎市富士見町3番2号

踏切事故をなくそう

近年、減少の傾向にあった踏切事故が、最近急に全国的に多発の傾向をみせております。二月十八日には東北線の踏切でエンコした乗用車と列車が衝突して死者二名をだし、また二十五日には兵庫県の私鉄の踏切で六名が死傷、二十六日には筑肥線の踏切で警報無視と思われる踏切事故で二名が即死、列車も脱線するという悲惨な事故が相次いで発生しております。

これらの事故はいずれも踏切直前で一時停止をして安全確認をし、あるいは踏切上でエンコした場合の列車の停止手配をするなどの基本を守っておれば防止できたものと思

われま。踏切事故は多大の損害がでることにはもちろんですが、人の生命に危険であること十分に認めて安全な踏切通行の基本を守り、踏切事故防止に御協力をお願いします。

長崎鉄道公安室

転居されるときは郵便局にも

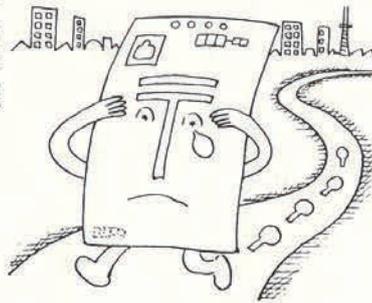
転居届の用紙は、郵便局のほか町役場戸籍の窓口にも備えてありますが、郵便はがきに旧住所、新住所、ご家族のお名前、転居年月日を書いてお近くのポストに投かんして



ビルマ巡拝を終えて(下)

森 本 山 石
今度機会を得ましてビルマ巡拝団に参加致し、その一部を先月号で御伝えしましたが、後半の第四回目より続けます。
第四回はカロー五五連隊が進攻作戦後いた所ですが簡単なる慰霊祭で御知らせする事は

専修学校



佐々郵便局

いただいたも結構です。出された転居届により向う一年間、旧住所あての郵便物を新住所へ転送します。この場合、書留とした郵便物や、小包は転送料が必要となりますから、友人や知人など主な通信先へはなるべく早く連絡しておきましょう。

佐々文化服装学院 生徒募集

洋裁、和裁の専修学校である佐々文化服装学院では左記のとおり四月期(昼・夜)入学生の願書受付を行っております。

- 昼・夜間部
- 一般コース、専攻コース
- 専修学校教員資格取得コース
- 別科(ミセス科) 週二日 毎月入学
- 併設短大通信教育コース (昼・夜)

近畿大学女子短期大学通信教育部連絡校。保育科(三年制) 幼稚園教諭免許、保母資格取得。
※入学に関する問い合わせは直接学院へ ☎22268

御厨・星鹿の 集団電話の 番号が変更しました

御厨、星鹿地区の集団(農集)電話が、一般電話になり、これまでの集団電話の番号が三月二十五日の午後二時(予定)から全部変更しました。電話帳(臨時版)の必要の方は、電話局窓口にお申し出てください。なお電話番号がわからない場合には、一〇四(市内案内)におたずねください。

くわしくは佐々電報電話局へ (〇九五六六一・二二〇〇〇)



あります。五回目が終戦の地シッタです。十年位前映画になった「戦場にかける橋」の鉄道のビルマ領に入った鉄橋付近です。当時の鉄橋は破壊されたまま上流約二kmに新しく鉄橋がかけられていました。ここも治安が悪く政府軍兵士警備のもとに慰霊祭を行いました。最終戦直前夜川を渡り敵戦車に切込みに行き敵戦車を撃退した所ですが治安が悪く現地迄(五km位)行け

ました事を御報告致します。なお、ミートキーナーの慰霊祭場より小石を少々持帰り仏壇へ御供え致しておりますので、同方面の御遺族の方の申出があれば御分ち致します。

町公民館だより

長崎県育英会

奨学生(大学)募集

昭和五十五年大学に在学する学生で、長崎県育英会奨学資金貸付を希望される方は佐々町教育委員会に申し込んでください。

●募集期間 五月十日まで

●採用人員

約三四〇名(予算範囲内の適格者を採用する)

●その他詳細については、佐々町教育委員会へおたずねください。

佐々町奨学生募集

昭和五十五年度高校・大学に在学する学生で、佐々町奨学資金貸付を希望される方は佐々町教育委員会に申し込んでください。

●募集期間

四月十日～五月十日

●その他詳細については、佐々町教育委員会へおたずねください。

古紙回収の

お礼とお願ひ

佐々町婦人会代表久家ミチ資源を大切にの趣旨のもとに古紙の回収を二回行いました(12月26日・2月26日)

が何れも皆様方の御理解御協力で大きな成果を得たことを心からお礼申し上げます。この後ともこの運動に尚一層の御協力をお願い致します。

集荷は二ヶ月に一回月末26日(今回は4月26日)の予定ですが当日それぞれの地区で適当な場所(部落公民館など)に集めておいて頂ければ結構です。

この点については特に各部落の部落長さん方や支部長さんにお世話をかけますがよろしくお願い致します。

皆様方の御協力で少しでも社会を明るくするために会員一同努力したいと思ひます。

あなたも「川柳」を

作って見ませんか!!

十七字(五、七、五)であらゆる人間感情を自由自在にうたえる「川柳」はあなたの心の糧ともなり、また生活日記ともなり、人間生き抜く足跡ともなります。

喜び、悲しみ、笑い、怒り、諷刺、比喩、ユーモア、自然四季の変化等あなたの胸の中にも周囲にも題材はいくらでもころがって居ます。

このたび佐々地区の文芸活動の一環として川柳愛好者、並に川柳を作って見たいと思

われる方々とともに佐々川柳部(仮称佐々川柳友の会)を発足させる為に御賛同下さる皆様の入会を心からお待ち致しております。

●作句して見たいと言わず作句する

●新しい世の鳴動へ除夜の鐘
●春一番新芽が覗く城の辻
(発起人) 佐々町小浦免

出端九一

佐々町芳浦

松永 茂

(仮称)

佐々川柳友の会

入会御希望の方は、住所、氏名、郵便番号明記の上左記宛先へ御申し込みください。

(宛先)

佐々町小浦免一一二八・七

出端九一

〇九五六、四七、四四七〇



川柳(自作集より各三句)

大徳屋末太郎(芳浦)

貧しさを言わず不義理の

詫び便り

路地裏に小虎一匹酒が寝る

嫌な奴向い合せた指定席

永吉いくよ (真申)

猷毅の抜穂色どる紅襷

風船が運んでくれた花の友

検針日毎の吐息が読みなおし

出端九一 (真申)

モナリザの微笑或る日の

妻の顔

晩成の返り見る時妻の皺

ライバルの昇進たたえ

空虚な日

福地やよい(小浦免)

華燭まで暦へ日々の行事入れ

悪い事してないもんと

恋は言い

勘当の解けた嬉しい岩田帯

町内剣道大会結果

〇小学四年以下の部

一位堀野雅樹、二位北村仁

宏、三位弓井康二、北村健

一郎

〇小学五、六年の部

一位力竹泰三、二位弓井健

一郎、三位米田一夫、下利

敏智

〇中学校の部

一位宮島龍彦、二位近藤誠

三位西村正太郎、湊繁雄

〇高校の部

一位山下雅之、二位野口

三位原昌基、山下

〇一般の部

一位金子建夫、二位福田俊

輔、三位堀野吉彦

参加のおすすめ

〔公民館の学級・講座〕

●高令者教室

●対象者 65才以上の人

●期間 55年4月から56年

3月まで

●会場 佐々町公民館

●書道教室

●対象者 町内居住者

●期間 55年4月から56年

3月まで

●会場 佐々町公民館

●婦人学級

●対象者 町内居住者

●期間 55年4月から56年

3月まで

●会場 佐々町公民館

●健康教室

●対象者 町内居住者

●期間 55年5月～7月

●会場 佐々町民体育館

●家庭教育学級

●対象者 口石、佐々両小の

1、2年生の親

●期間 55年4月から56年

3月まで

●会場 両小学校

●幼児教育学級

●対象者 幼稚園のお母さん

●期間 55年4月から56年

3月まで

●会場 佐々町立幼稚園

詳しくは公民館へ尋ねてください。

随筆郷土史 (68)

宮原九一郎

大正時代の佐々(18)

小学校(その七)

大正時代の小学校の学用品のことも書いておきたい。

現在は小学一年生でも数え切れない程の学用品を揃え、

誰一人として見劣りしない服装で入学するが、大正時代の

入学支度は至って簡単であった。古いことだからはつきり

は覚えていないが、教科書も国語(当時は読み方と言った)

の他に一冊か二冊しかなかった。

セキバンは重要な学用品であつた。石板と書くのか、石

盤と書くのか習ったことはない。どこで採れるのか知らない

が、厚さ三ミリ位の黒い石の板の両面をきれいに磨き、

縁も付いているが、二年生の頃には縁が外れ、隅の方は少し欠けたのを使う者もいた。

一年生の間位はセキバンの

字の練習も算数(算術と言っていた)の計算もみんなセ

キバンに石筆で書き、一杯になるとセキバン拭きで消して

又書いた。セキバンに書いたのに先生から丸を付けて貰った時など、それが消えないようにに大事に持って帰って親に見せたい。

石筆は先生の使うチョーク(これはハクボクと言った)と同じで削る必要はなかったし、手帳を使わないので鉛筆はいらなかった。



二十センチに十五センチ位の長方形としたものに、粗末な木製の縁が付いてあつた。石筆(せきひつ)もこの産か知らないが、直径五ミリ、長さ十センチ位の白い硬い石が売ってあり、この石筆でセキバンに字を書くのであつた。古いラシヤなどを小さなタワシのように巻いたセキバン拭きも必要な学用品であつた。

習字(書き方と言った)用の紙は草紙(そうし)と言つて半紙を二十枚ばかり綴じたのがあり、上から一枚宛めくつて書くのだが、一度書いた上に又違つた字を書き、その上に更に別の字を書くので、しまいに紙全体が真ッ黒になつた。真ッ黒な紙でも書く時だけは水分が浸み込んで字の形が分るので、結構習字の練習に役立った。

清書(せいしよ)と言つて先生に出す時だけ普通の半紙を使つたが、一円の百分の一の一銭で四枚買えるのは上等の紙であり、一銭で五枚も六枚も買える紙もあつた。上等の紙でも一円あれば四百枚買えたのだからまことに隔世の感がある。

三年生になつて初めて手帳と鉛筆を使うようになり、図画は六色の色鉛筆で書いた。小浦小学校は明治七年の創立だが、その頃は互に石で字を書いて習つたと言うから、大正時代のセキバンは進歩した学用品であつたと言えるだろう。

館報が『町政だより』に編入

佐々町長 菊本春夫

これまで、町政執行に係る状況やいろいろなお知らせ、また町政についての町民皆様のご希望やご意見などもいれて、毎月町政だよりまたは公民館だよりとしておとどけいたしておりましたが、昭和五十五年四月一日号より、装いを改め「町政だより」一本にして刊行することにいたしました。

ながい期間親しんでいただきました公民館だよりとしての町政報紙は、その名が消えることになりましたが、町公民館からのお知らせや、社会教育関係全般、社会体育全般、また勤青ホームや図書室等の記事は、これからの町政だよりの中に、しっかりと入れて編集することにいたしました。

町政をすゝめて参りますために、町民皆様とのパイプの役目を果たす広報が如何に大切であるかは、改めて申し上げますまでもありません。

装いを新にいたしました機会に、町の広報活動の中軸である「町政だより」の企画や

編集を一段と工夫し、速報や一般的なお知らせに、その力を發揮しております。町広報無線の活用と併せまして、本町の広報活動をより充実させて、町民皆様のご期待に応えて参りたいと存じます。

この町政だよりが、皆様に一層親しまれ、関心もたれ、町政推進の潤滑油として町政のよりよき執行のために、また私が常に願います、めております『だれでもが住みたくなる明るい町づくり』のために、そして「わが故郷」を愛される町民の方々の、ふるさとづくりについての建設的な声の広場にもなるように、すめてゆきたいと思っております。

なにとぞ多くの方々のご愛読と温かいご意見を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶といたします。



【表紙題字】は松本正次郎さん(中央通り)